

表 4 < Quantitative MG Score for Disease Severity: QMG score >

方法	正常	軽度	中等度	重度
Grade	0	1	2	3
右方視, 左方視時の複視出現までの時間(秒)	61	11-60	1-10	常時
上方視時の眼瞼下垂出現までの時間(秒)	61	11-60	1-10	常時
顔面筋力	正常閉眼	抵抗を加えると閉眼	抵抗を加えなければ閉眼できる	不完全
100cc(4oz)の水の飲み込み	正常	軽度の誤嚥咳払い	強い誤嚥, むせ, 鼻への逆流	のめない
1~50まで数え, 構音障害が出現するまで*	50までいえる	30-49	10-29	9
座位で右上肢挙上(90°)(秒)	240	90-239	10-89	9
座位で左上肢挙上(90°)(秒)	240	90-239	10-89	9
予測肺活量(%VC)	80	65-79	50-64	<50
握力 右(利き手)男性	45	15-44	5-9	0-4
女性	30	10-29	5-9	0-4
左 男性	35	15-34	5-14	0-4
女性	25	10-24	5-9	0-4
臥位で頭部45° 挙上が可能な時間(秒)	120	30-119	1-29	0
臥位で下肢45° 挙上が可能な時間(秒) 右	100	31-99	1-30	0
左	100	31-99	1-30	0

* 原文では英語で、声を出して数えることになっている。

(QMG score 合計 0-39)

表5 <ADLスコア（免疫性神経疾患調査研究班 平成7年度研究報告）>

- 0：症状なし
- 1：軽微な症状のみにて日常生活、勤務、通学に支障なし
- 2：中等度の症状のため勤務、学校生活などが十分遂行できない
- 3：症状が強く、勤務、学校、外出などがほとんど出来ない。構音・嚥下障害もみられることがある
- 4：室内の移動、身の回りのことがかろうじて可能、構音・嚥下障害も強いことが多い
- 5：寝たきり、もしくは椅子に座ったまま、歩行不能
- 6：常時、もしくは時々、人工呼吸器装着